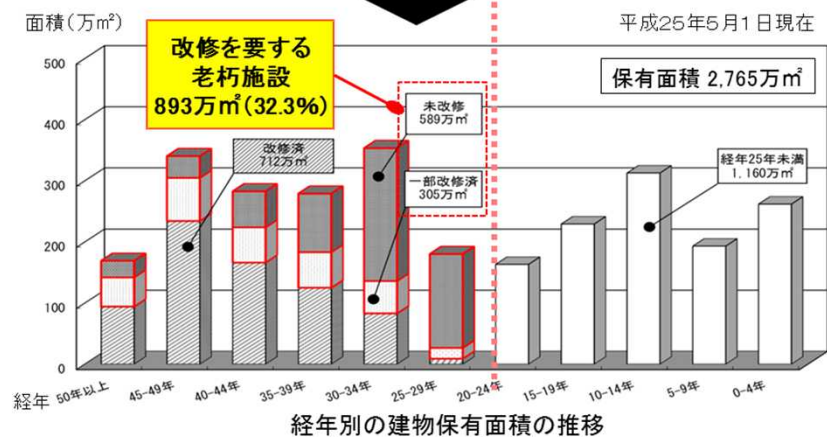
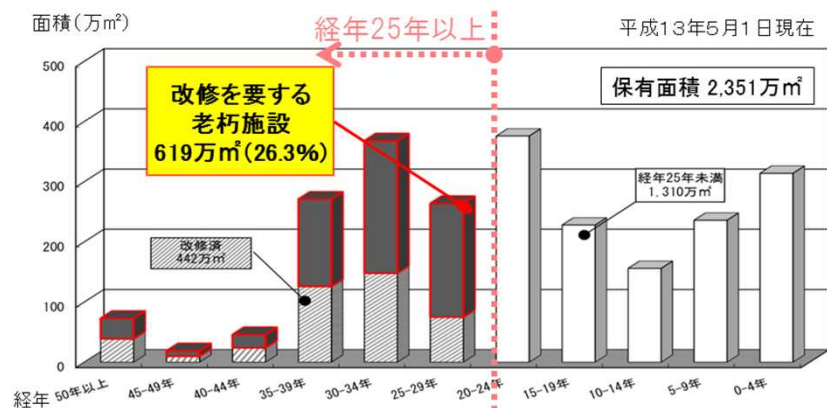


## 図3-30 / 国立大学等施設・ライフラインの抱える問題点（その1）

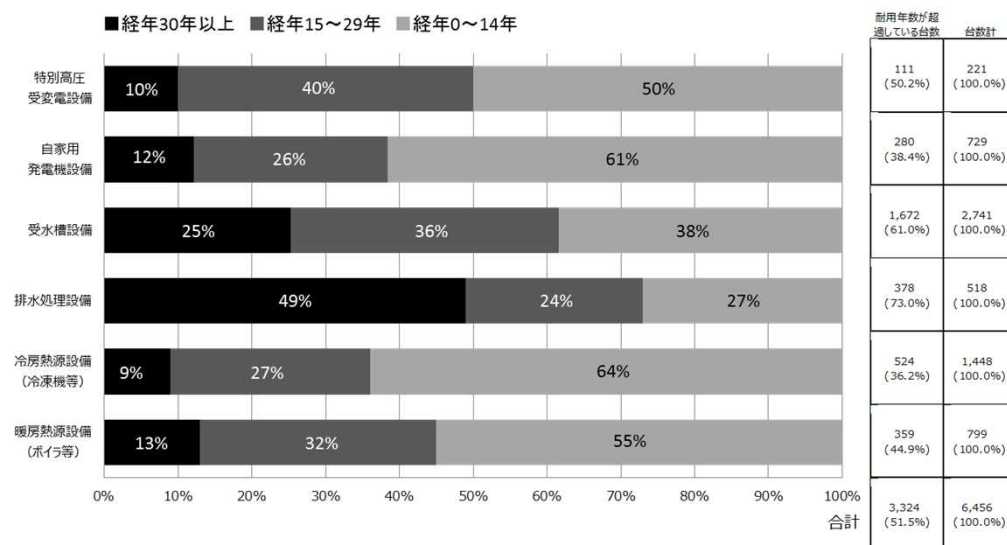
- 経年25年以上の改修を要する施設は、全国で893万㎡（全保有面積の32.3%）で、老朽改善整備に著しい遅れが発生。経年による老朽需要等の増大も加わり、第1次5か年計画開始時（H13）に比べ増加。
- 主な基幹設備については、法定耐用年数を超えるものの割合が高くなっており、法定耐用年数の2倍を超えている設備も少なくない。



出典：平成25年度国立大学法人等施設の実態に関する報告を基に作成

### 基幹設備（ライフライン）の経年と耐用年数の関係

(平成25年5月1日現在)



※法定耐用年数（減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数）はそれぞれ15年

出典：平成25年度国立大学法人等施設の実態に関する報告を基に作成



▲老朽施設の外観（経年48年）



▲外壁タイルの剥落